

(大村市版災害時要援護者避難支援マニュアル 概要版)

おおむら災害時助け合いプラン

自助・共助マニュアル編

大村市災害時要援護者防災活動支援指針



向こう三軒両どなり

みんなつながり支え合い

いきいき安心おおむらづくり

平成23年3月

大村市

本書は、プラン本編から、特に災害時要援護者ご本人や地域にとって必要な、自助と共助の取組みに関する部分を抜粋し、再構成したものです。
(詳しくは、プラン本編をご覧ください。)

1 災害に立ち向かうための自助マニュアル

日常生活の中で常に災害の発生に備え、「自分の生命は自分で守る」という心構えを持つことが大切です。

災害時を生き抜くために、これだけはやっておきたいポイントを挙げてみました。

(1) 家族皆で「防災家族会議」を開き、災害時にどうするか話し合っておきましょう。

まず、家族全員が共通の危機意識を持つことが必要です。

災害時をイメージし、日頃どんな備えが必要か、また発生後にどのように行動すればよいかなどについて、家族でじっくり話し合ってみましょう。



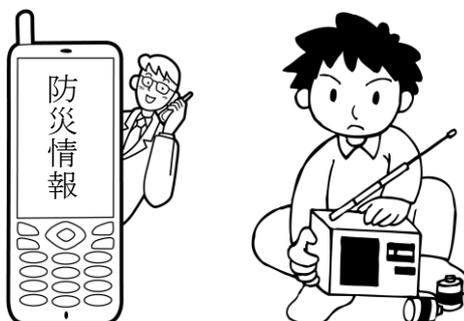
(2) いざという時の連絡方法、集合場所を確認しておきましょう。

安否確認のために、一気に携帯電話の使用が集中すると、「輻輳」という現象が起こり、通話できなくなる可能性が高まります。そこで、携帯電話が使えないという前提のもと、連絡方法を予め決めておいたり、集合場所を決めておくとい良いでしょう。



(3) 市防災メールの受信登録などを行い、日頃から災害情報の把握を心がけましょう。

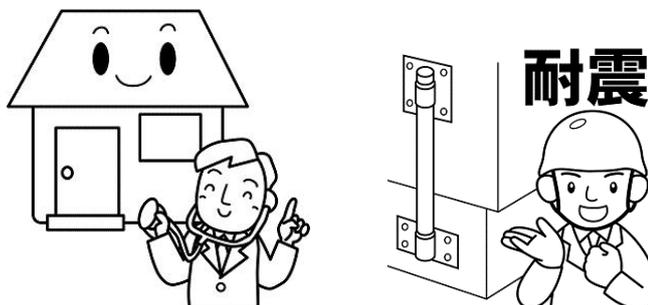
携帯電話をお持ちの方は、市のホームページから防災情報メールマガジンに登録したり（ページ6参照）、災害時や災害の発生が予測される場合には FMおおむら（76.3MHz、<http://fmomura.jp/index.php>）を聴くなど、日頃から災害情報の把握を心がけましょう。



(4) 自宅の安全性を高めましょう。安全な家に住んでいれば、不自由な避難所に行く必要がなくなります。

① 自宅の耐震診断を受けたり、必要な場合は耐震補強を行いましょ。

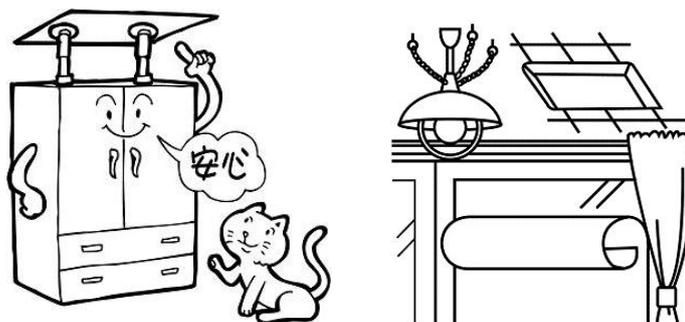
資金的に困難な場合、例えば寝室のみを補強したり、シェルター設置などの方法を検討してみましょう。



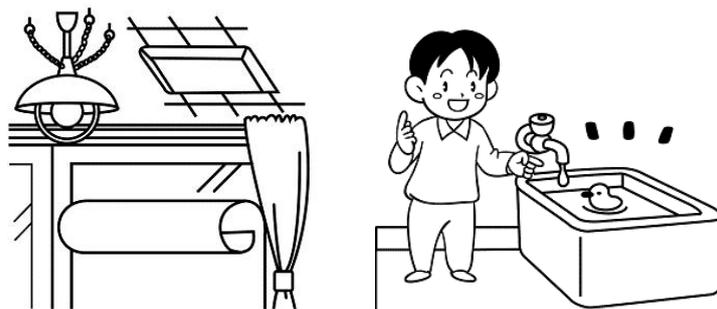
② 家具や家電などを固定しましょう。

家具や家電の転倒によって大ケガをしたり、最悪の場合には死亡することがあります。L字金具などを使って壁や柱に固定しておきましょう。

また、家具の扉にストッパーを取り付けたり、電灯の破損・飛散の防止のため、チェーン等を使って天井に固定しておきましょう。



- ③ ガラスなどの飛散を防止しましょう。
窓や食器棚などのガラス部分に飛散防止フィルムを貼っておきましょう。また、食器棚の扉にストッパーを取り付けて、食器の破損と飛散を防ぎましょう。
- ④ 室内は常に整備整頓しておきましょう。
脱出ルート確保のため、物が散乱しないよう日頃から室内を整理しておきましょう。
- ⑤ 高いところには物を置かないようにしましょう。
- ⑥ 可能なら、お風呂には常に水を張っておきましょう。
もし水道水が止まった場合、入浴前なら飲料水に、入浴後でもトイレや洗い物、また消火活動などに利用できます。
(ただし、乳幼児などのいるご家庭では、浴室扉にストッパーを取り付けたり、必ず風呂ふたを使用するなど、取扱いに充分ご注意ください。)



(5) 非常用品を準備しておきましょう ☞ サンプル①～③(P10～12 参照)

- ① リュックサックなどに非常用品を準備しておきましょう。
最低3日分の食料と水、懐中電灯、携帯ラジオ、緊急連絡先カードなどとともに、必要に応じて専用の医薬品や、補聴器、白杖等の日常生活用具類を備えておきましょう。



- ② 大切なものは、袋に入れフックなどに掛けておきましょう。
特に大型地震の場合、あらゆるものが飛んでいきます。(神戸市にある「人と防災未来センター」語り部談)。杖や補聴器など、なくてはならない用品は壁フックなどにかけておくとよいようです。

- ③ 寝室に着替えや靴などを準備しておきましょう。
速やかに安全に避難できるよう、寝室に着替えや頭巾、予備の靴を準備しておきましょう。

- ④ 災害救護用品(のこぎり、バール、ジャッキなど)を備えておきましょう。

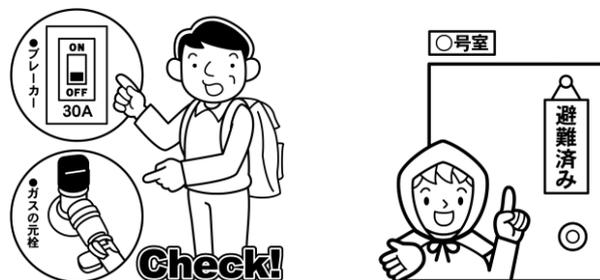
- ⑤ ホイッスルを身近に準備しておきましょう。

万が一瓦礫の下敷きになったりしたとき、声が出なくてもホイッスルを鳴らすことで、所在を知らせることができます。もちろん、防犯にも役立ちます。



- ⑥ 「ブレーカーを落とす」などの注意書きや避難済みステッカーなどを準備しておきましょう。

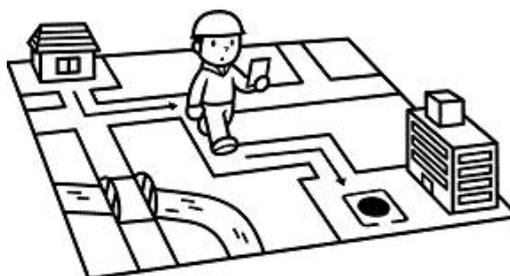
自宅から避難所等に避難する場合を想定して、ブレーカーやガスの元栓を確認するための注意書きや、玄関に表示する避難済みステッカー等を準備しておきましょう。



- (6) 避難場所、避難経路を確認しておきましょう。

日頃から地域の避難場所や避難所がどこなのか、またバリア(段差等)の有無など施設の現状を確認しておきましょう。

その際、より安全な避難経路についても確認しておく必要があります。



(7) とわり近所と仲良くしておきましょう。

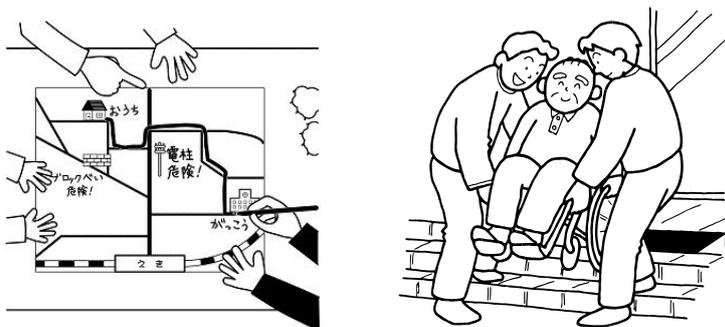
災害発生時にすぐに頼りになるのは、とわり近所の助け合いです。

日頃から町内会活動などとおして、ご近所との交流を深めておきましょう。



(8) 積極的に防災研修会や防災訓練に参加しましょう。

日頃から機会を捉えて、防災に関する研修会や防災訓練に参加し、自助・共助の意識を高めましょう。



(9) 自分だけで難しい防災活動は、地域の自主防災組織や町内会などに頼ってみましょう。

例えば、身体的な理由で家具の固定作業ができないなど、自分だけでは難しい防災活動がある場合は、積極的に地域の人たちに手助けを頼んでもみることも大切です。

<1-(3)関連資料> 大村市防災情報メールマガジンの登録の仕方

大村市防災情報メールマガジンの登録は、次の手順で行ってください。

(携帯電話でドメイン指定受信されている方は、「city.omura.lg.jp」を登録してください。)

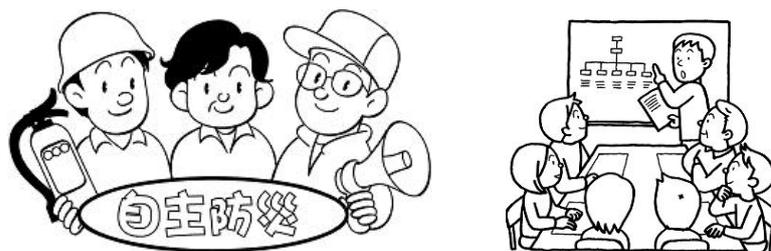
- (1) 大村市ホームページにアクセスしてください。
(<http://www.city.omura.nagasaki.jp/index.asp>)
- (2) 画面の左側にあるメールマガジンのバナーをクリックしてください。
- (3) メールマガジン画面の上側にある「購読申請」をクリックしてください。
- (4) メールマガジン利用規約画面の規約内容を確認された上で、「同意する」をクリックしてください。
- (5) メールマガジン購読申請画面において、[個人情報]欄に名前とメールアドレスを入力し、[メールマガジン購読申請]欄の防災情報にチェックを入れたのち、「確認」をクリックしてください。
- (6) 「セキュリティの警告」メッセージが出た場合は、「はい」をクリックしてください。
(警告が出なかった場合は、次の(7)の画面が表示されます。)
- (7) メールマガジン購読申請確認画面において、[個人情報]欄の名前とメールアドレスに間違いがないか、[メールマガジン購読申請]欄で防災情報が選ばれているかを確認したのち、「送信」をクリックしてください。
- (8) 仮登録されたメールアドレスに、表題「大村市メールマガジン登録」のメールが送信されますので、メール画面下のアドレスをクリックしてください。
- (9) 表題「大村市メールマガジン確認」画面が表示されますので、画面下の「こちら」をクリックしてください。
- (10) 表題「大村市メールマガジン登録完了」画面が表示されたら、登録作業は終わりです。
次回分から防災情報の配信が始まります。

2 災害に立ち向かうための共助マニュアル

災害時に大切なのは、となり近所をはじめとする地域での助け合いです。
「自分たちの生命は自分たちで守る」という心構えを持ち、災害時に皆で助け合うため、これだけはやっておきたいポイントを挙げてみました。

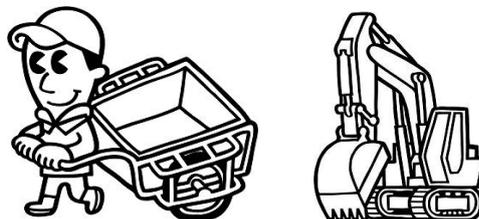
(1) 地域で自主防災組織の結成に取り組みましょう。

地域全体で災害に立ち向かうため、自主防災組織の結成に取り組むことが必要です。
特に、結成の過程でできるだけ多くの人たちと防災意識を共有することが大切です。
さらに、地域内で専門的スキルや知識を持った人材を発掘し、把握しておきましょう。
また、個人に限らず、地域内の事業所や医療機関、福祉施設等にも自主防災組織への加入を求め、様々な事態に対応できる体制、地域内ネットワークを整えておきましょう。



(2) 非常用品を準備しておきましょう。

災害救助等のために必要な工具などを備えるとともに、発電機や重機などを保有している人や事業所などを把握しておき、災害時に提供してもらえるよう事前に相談しておきましょう。



(3) 災害時要援護者の把握と個別支援計画の作成を進めましょう。

☞ 別紙1、2(P13~14 参照)

- ①地域に居住する災害時要援護者に、地区の民生委員さんを通じて市へ登録申請するよう勧めましょう。
- ②市と災害時要援護者登録情報の提供に関する協定を結び、地域に住む災害時要援護者を把握しましょう。

③災害時要援護者の実態に合わせ、災害発生時の避難支援者や避難誘導時の留意点などを定める個別支援計画を作成しましょう。

(4) 災害時要援護者の実態に合わせた防災訓練を実施しましょう。

地域に住む災害時要援護者と協力して、個別支援計画に沿った防災訓練を行いましょう。訓練をとおして、災害時における安否確認や避難誘導の仕方などを確認しておきましょう。



(5) 災害時要援護者の日頃の防災活動を支援しましょう。

身体的な理由等で日頃の防災活動が難しい災害時要援護者に対し、家具の固定や配置換えなどの作業を手助けすることで、災害時要援護者の自助力の向上を支援しましょう。



(6) 災害時要援護者への情報の提供に努めましょう。

災害時要援護者は、多くの場合、情報の取得が困難です。

災害時に限らず、必要な情報が手元に届いていない場合が考えられるため、地域の中でも特にとなり近所の方を中心に、日頃から災害時要援護者への情報提供を心がけましょう。

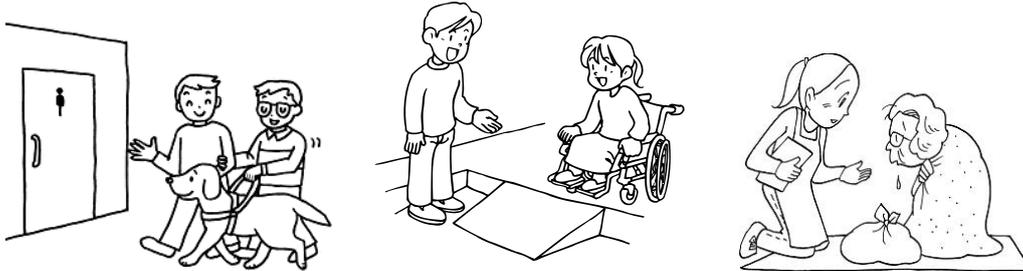
(7) 災害時要援護者に配慮した避難所の確保・整備に努めましょう。

① 平常時に、関係する自主防災組織、学校、市防災部局などとともに、指定避難所等の運営方法の研究や運営訓練などを行いましょう。

② 指定避難所以外に、地域において一時避難所を予め選定し、スロープ設置や段差解消、トイレ改修など、可能な限り受入れのための環境整備を行っておきましょう。

③ 避難所内における入所者の配置は、地域のつながりを持続するため、地域単位(町内会など)とし、災害時要援護者が入所した場合も、本人の属する地域の区割内に配置するよう配慮しましょう。

ただし、災害時要援護者の身体的・精神的な状態によっては、福祉避難所等に配置変えるなど、柔軟な対応を心がけましょう。



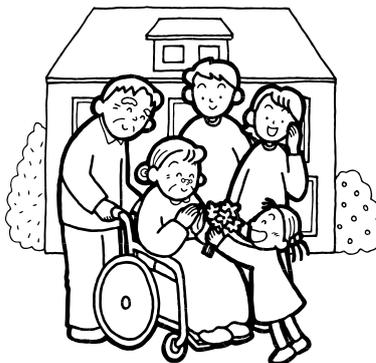
(8) 救助隊、ボランティアなどを受け入れる体制を整えておきましょう。

災害発生時における救助や、生活再建の各段階(避難所運営、瓦礫等の後始末、仮設住宅等入居)において、住民のニーズを把握し、市、救助隊、ボランティアなどと協力して解決を図るため、どのように支援を受け入れるのか、予め方針を定めておきましょう。



(9) 日頃から災害時要援護者に地域活動への参加を促しましょう。

災害時に限らず、町内会の行事など日頃の地域活動に、災害時要援護者に積極的に参加してもらおう努めましょう。日頃の交流が助け合いの第一歩です。



緊急連絡先カード

ふりがな			
名前	名前	生年月日	続柄
生年月日			
住所	〒		
電話番号	(自宅)		
	(携帯)		
血液型	RH(+)(-) A B O AB	e-mail	

緊急連絡先

名前	(続柄)	住所	〒
電話番号	(自宅)	e-mail	
	(携帯)		
名前	(続柄)	住所	〒
電話番号	(自宅)	e-mail	
	(携帯)		
かかりつけ病院 1	【電話番号】 () 科) (主治医名)		
かかりつけ病院 2	【電話番号】 () 科) (主治医名)		
通所施設等	【電話番号】 (担当者名)		
病名		常備薬名	
症状名			

メモ

.....

.....

.....

メモ

【補足情報を記入してください。】

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

キリトリ.....または.....折り目.....

【サンプル① 緊急連絡先カード】

使用の例: 折じたんで、カード入れ等に入れて携帯することができます。



非常用バックなどに備えておくもの

食料品			救急用品		日用品		貴重品 など
品 目	数量	賞味期限	品 目	数量	品 目	数量	品 目
<input type="checkbox"/> 飲料水		年 月 日	<input type="checkbox"/> ばんそうこう		<input type="checkbox"/> 懐中電灯		<input type="checkbox"/> 現金
<input type="checkbox"/> 缶詰		年 月 日	<input type="checkbox"/> ガーゼ		<input type="checkbox"/> ラジオ		<input type="checkbox"/> 預貯金通帳
<input type="checkbox"/> 乾パン		年 月 日	<input type="checkbox"/> 包帯		<input type="checkbox"/> 予備電池		<input type="checkbox"/> 印鑑
<input type="checkbox"/> あめ玉		年 月 日	<input type="checkbox"/> はさみ		<input type="checkbox"/> 携帯電話充電器		<input type="checkbox"/> 健康保険証(写)
<input type="checkbox"/> チョコレート		年 月 日	<input type="checkbox"/> ピンセット		<input type="checkbox"/> 缶切り		<input type="checkbox"/> 運転免許証(写)
<input type="checkbox"/> インスタントおかゆ		年 月 日	<input type="checkbox"/> 体温計		<input type="checkbox"/> ライター、着火器具		<input type="checkbox"/> 緊急連絡先カード
<input type="checkbox"/> ()		年 月 日	<input type="checkbox"/> ()		<input type="checkbox"/> 食器(皿、はし等)		<input type="checkbox"/> 緊急会話カード
<input type="checkbox"/> ()		年 月 日	<input type="checkbox"/> ()		<input type="checkbox"/> 携帯コンロ		<input type="checkbox"/> ()
<input type="checkbox"/> ()		年 月 日	<input type="checkbox"/> ()		<input type="checkbox"/> 予備ボンベ		<input type="checkbox"/> ()
薬 品			衣類 など		<input type="checkbox"/> ロープ		ペット/補助犬用品
品 目	数量	使用期限	品 目	数量	<input type="checkbox"/> レジャーシート		品 目
<input type="checkbox"/> 消毒薬		年 月 日	<input type="checkbox"/> 上着		<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー		<input type="checkbox"/> ハーネス
<input type="checkbox"/> かぜ薬		年 月 日	<input type="checkbox"/> 下着		<input type="checkbox"/> トイレットペーパー		<input type="checkbox"/> ペットフード
<input type="checkbox"/> 鎮痛薬		年 月 日	<input type="checkbox"/> 靴(スニーカー等)		<input type="checkbox"/> 生理用品		<input type="checkbox"/> 食事皿、水皿
<input type="checkbox"/> 常備薬()		年 月 日	<input type="checkbox"/> 靴下		<input type="checkbox"/> ビニール袋		<input type="checkbox"/> タオル
<input type="checkbox"/> 常備薬()		年 月 日	<input type="checkbox"/> タオル、ハンカチ		<input type="checkbox"/> 保温シート/新聞紙		<input type="checkbox"/> トイレ用品
<input type="checkbox"/> ()		年 月 日	<input type="checkbox"/> 防災頭巾、ヘルメット		<input type="checkbox"/> メモ帳/ボールペン		<input type="checkbox"/> ()
<input type="checkbox"/> ()		年 月 日	<input type="checkbox"/> 作業用手袋		<input type="checkbox"/> ()		<input type="checkbox"/> ()
<input type="checkbox"/> ()		年 月 日	<input type="checkbox"/> ホイッスル		<input type="checkbox"/> ()		<input type="checkbox"/> ()
<input type="checkbox"/> ()		年 月 日	<input type="checkbox"/> ()		<input type="checkbox"/> ()		<input type="checkbox"/> ()

倉庫などに備えておくもの

のこぎり バール ジャッキ ブルーシート ()

避難所などに避難する時に気をつけること

<input type="checkbox"/> ブレーカーはオフにしましたか。
<input type="checkbox"/> ガスの元栓は閉めましたか。
<input type="checkbox"/> 玄関に避難済みカードを表示しましたか。
<input type="checkbox"/> とおり近所に声かけしましたか。

使用の例： 冷蔵庫などいつも目に付く場所に掲示して使うことができます。



【サンプル③ 避難済みカード】

キリトリ

(穴) (穴)

避難済み

<p style="text-align: center;">ふりがな</p> <hr/> <p>世帯主氏名</p> <hr/> <p>連絡先電話番号</p> <hr/>	<p>避難場所</p> <hr/> <p>避難場所電話番号</p> <hr/>
---	---

伝言メモ

.....

.....

.....

.....

使用の例

1. キリトリ線に沿って切り離し、厚紙などの台紙の上に貼り付けてください。
2. 上の方にある(穴)の部分に穴を開け、適当な長さのひもをとおしてください。
3. ドアノブに掛けたり、棧に結んだりして使うことができます。



災害時要援護者登録申請書兼台帳

大村市長 様

下記のとおり登録申請します。

		単位民児協地区番号						
フリガナ 氏 名			性 別	男 ・ 女				
			※血液型	A ・ B ・ AB ・ O				
生 年 月 日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日 ()歳							
住 所	アパート名、室番号			同居者	有 ・ 無			
				町内会名				
電 話 番 号	自 宅			FAX				
	携 帯			メールアドレス				
※要援護者 区分欄	世帯の状況 (同居者・有のとき)		1. 夫婦世帯 2. 左記1以外の2人世帯 3. 3人世帯 4. 4人以上の世帯					
	↓ この欄は、1号～4号までのうち、該当する号に○をつけてください。							
	自力での 避難が 困難な 方に 限ります	1号	介護保険制度で要介護以上に認定された方					
		2号	↓ この欄は、障害のある方のそれぞれの手帳に記載されている「障害名」 及び「程度」に○をつけてください。					
			身体障害 の方	障害名	1 視覚障害 2 聴覚障害 3 言語障害 4 上肢不自由 5 下肢不自由 6 体幹不自由 7 内部障害			
				程度	1級 2級 3級 4級 5級 6級			
			知的障害 の方	程度	A1 A2 B1 B2			
精神障害 の方	1級 2級 3級							
3号	高齢者(65歳以上)で、上記1号及び2号に該当しない方							
4号	上記1号～3号に該当しないが、自力での避難が困難な方							
※かかりつけ病院 (必要な場合のみ)	有 ・ 無	病院名			電話番号			
指 定 避 難 先	市指定 避難先			地元指定 避難先				
避 難 支 援 者	有 ・ 無	※ 氏 名			※続柄	※自宅電話		
		※ 住 所				※携帯電話		
緊 急 連 絡 先	氏 名			続柄	自宅電話			
	住 所				携帯電話			
担当民生委員 児童委員	氏 名				自宅電話			
	住 所				携帯電話			

☆ 下欄について、選択する方の□にチェックしてください

災害対応のため、大村市が
大村市社会福祉協議会、大村市民生委員児童委員協議会連合会、大村消防署及び市内各地区消防団、
町内会、各自主防災組織に、上記※印部分を除く登録情報を提供することに

同意します。 同意しません。 (署名 印)

(本登録情報は、災害対応及び更新調査以外に使用することはありません。)

災害時要援護者個別支援計画

フリガナ 氏名					性別	男・女	
生年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日 ()歳						
住所	アパート名、室番号				同居者	有・無	
					町内会名		
電話番号	自宅電話			FAX			
	携帯電話			メールアドレス			
指定避難先	市指定 避難先			地元指定 避難先			
緊急連絡先	氏名			続柄	自宅電話		
	住所					携帯電話	
担当民生委員 児童委員	氏名				自宅電話		
	住所					携帯電話	
避難 支援者	1	氏名			続柄	自宅電話	
		住所					携帯電話
	2	氏名			続柄	自宅電話	
		住所					携帯電話
	3	氏名			続柄	自宅電話	
		住所					携帯電話
情報伝達の流れ	<p><例> 市役所 ⇒ 自主防災会 ⇒ 本人及び避難支援者 *自主避難を決めたとき ⇒ 本人から避難支援者に電話等で要請 *市から「避難準備情報」が発令されたとき ⇒ 避難支援者は電話等で本人に連絡</p>						
情報伝達時の 留意事項							
避難時に携行する日 常用具、医薬品等							
避難誘導時の 留意事項							
避難先での 留意事項	<例> 人工透析の装置が必要						
その他参考事項							

災害対応のため、大村市が本計画を 大村市社会福祉協議会、大村市民生委員児童委員協議会 連合会、大村消防署、大村市消防団、各町内会、各自主防災組織及び本計画の避難支援者に提供することに同意します。

(署名 _____ 印 _____)

おおむら災害時助け合いフラン

〈大村市災害時要援護者防災活動支援指針〉



自助・共助マニュアル編

大村市役所 福祉保健部 福祉総務課

〒856-8686

長崎県大村市玖島一丁目25番地

TEL (0957)53-4111 FAX (0957)52-6930

E-mail: fukushi @ city.omura.lg.jp

ホームページ <http://www.city.omura.nagasaki.jp/>

サイト内「災害時要援護者」で検索

